

被爆80年

広島大学原爆放射線医科学研究所

長崎大学原爆後障害医療研究所

共同特別企画

[共催]放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

原爆は実に多くの過酷な人生を生み出しましたが、被爆地の大学の医学部も、その一員でありました。

広島大学医学部は1945年8月5日に開校しました。

長崎大学医学部はほぼ爆心地となり、夏休みを返上して学ぶ学生、いつも通りの営みのはずであった研究者や病院は、突然大変大きな打撃を受けました。生き残った学生たちは、季節になると虞美人草が咲き誇る、医学部キャンパス近くの「グビロが丘」に、散り散りになった亡き友たちの遺骨を少しずつ拾い集め、慰霊碑を建てました。

広島大学は、戦後、学問の復興への決意を、力強くよみがえる不死鳥(フェニックス)の名を持つ植物に託して学章としました。

被爆に屈しない80年を過ごしてきた被爆地。その地の大学では、被爆医療、原爆医学研究に取り組み、現在もその原点を継承しています。今回はその取り組みの一端をご紹介します。

2025年度 企画展示

グビロが丘の祈り、 フェニックスの誓い

—被爆の医学を追い求めたヒロシマとナガサキの80年—

長崎会場

7/14(月)

13:00~17:00



出島メッセ長崎 1階

会議室101-C

長崎市尾上町4-1 (長崎駅前)

入場無料

長崎大学医学部原爆復興80周年記念講演会
および原爆被災写真・資料展と共同開催

7/15(火)▶8/9(土)

10:00~16:00



長崎大学医学部

基礎研究棟1階ロビー

長崎市坂本1丁目12-4

入場無料

長崎大学医学部原爆復興80周年記念
原爆被災写真・資料展と共同開催

10/2(木)▶10/4(土)

10:00~16:00



出島メッセ長崎 2階

コンベンションホール2

長崎市尾上町4-1 (長崎駅前)

入場無料

英語展示

IPPNW(核戦争防止国際医師会議)世界大会出展

問い合わせ【長崎】長崎大学原爆後障害医療研究所 電話:095-819-7123